

著書紹介

著者自らが新刊を紹介します。



「推し」の科学

プロジェクション・サイエンスとは何か

心理学部・教授・久保 南海子

▶新書判 ▶256ページ ▶集英社

▶本体860円+税 ▶2022年8月17日発行

▶あなたには「推し」がありますか？ 日々楽しんでいる「推し活」を科学してみませんか？ 本書では、「推し」をめぐるさまざまな行動について認知科学の最新の概念である「プロジェクション」で説明し、人間ならではの知性とこころの働きを紐解きます。

『フォビアがいっぱい』

多文化共生社会を生きるために

交流文化学部・准教授・二文字屋 脩(共著)

▶A5判 ▶228ページ ▶春風社

▶本体2,700円+税 ▶2022年9月発行

▶社会の多様性が認められるようになるにつれ、異なる他者への恐怖や嫌悪も生まれていった。他人や自分に向けられる憎悪＝「フォビア」とは何か、そしてフォビアやコンプレックスをどうすれば克服できるかを、「ゼノフォビア(外国人へのフォビア)」「ジェンダー・フォビア(ジェンダーに関するフォビア)」「エゴフォビア(自分へのフォビア)」「オーバー・フォビアズ(フォビアを乗り越えるために)」といった切り口から考える。